

# IPv6の本格展開に向けて

IPv6 Summit 2013

Jan 29, 2013

BIGLOBE

MINAMI Yuichi

# IPv4アドレス動向

	枯渇時期
IANA	2011.2.3
APNIC	2011.4.19
RIPE NCC	2012.9.14
ARIN	2014.6.20(予測)
LACNIC	2014.7.13(予測)
AFRNIC	2020.12.7(予測)

出典： <http://www.potaroo.net/tools/ipv4/>  
※2013.1.25時点

ARIN地域が枯渇する2014年が大きな機転

# これまでの取り組み(1)

## BIGLOBEクラウドホスティング

- 仮想サーバリソースをオンデマンドで提供するIaaS型クラウドサービス
- 標準でIPv4/IPv6デュアルスタック
- ロードバランサ(オプション)でもIPv6利用可能
- 2011/1から提供

# これまでの取り組み(2)

## フレッツ光ネクスト

- IPoE方式を採用
- VNE事業者としてJPNEと連携
- 利用にあたって、利用者はBIGLOBE経由でフレッツv6オプション申込
  - このときCAF番号・アクセスキーが必要
- IPv6利用料は¥0
- 2011/7から提供開始
- 2012/6からフレッツv6オプション工事無料化、代行申込開始

# これまでの取り組み(3)

## World IPv6 Day

- 2011.6.8
- ISP事業者、コンテンツ事業者として参加
- いわゆるAAAAフィルタにより、フォールバック問題の発生を抑制
- www.biglobe.ne.jpにAAAAを付与
  - IPv6によるアクセスは1.4%程度

# これまでの取り組み(4)

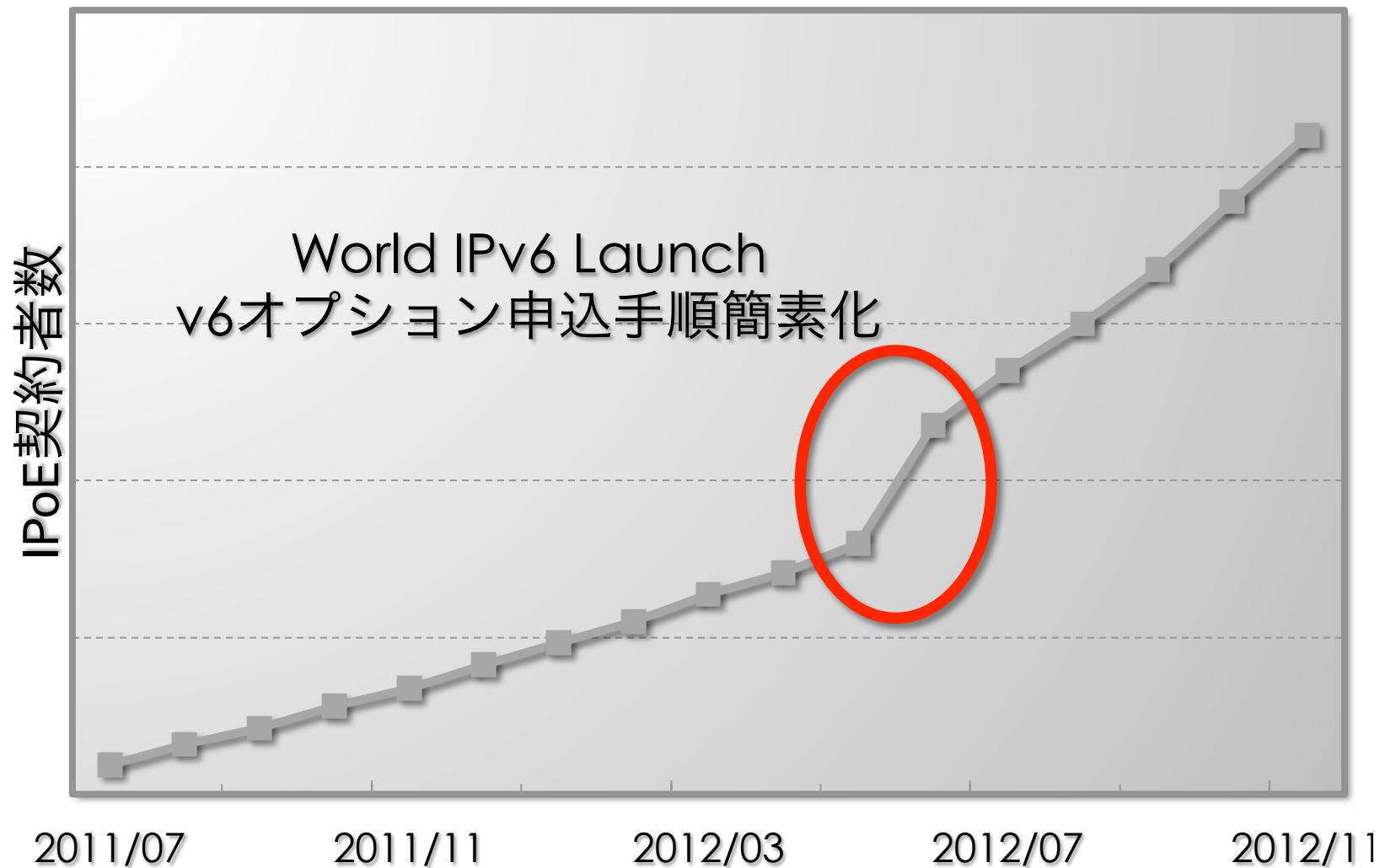
## World IPv6 Launch

□ 2012.6.6～

□ AAAAフィルタ実施せず

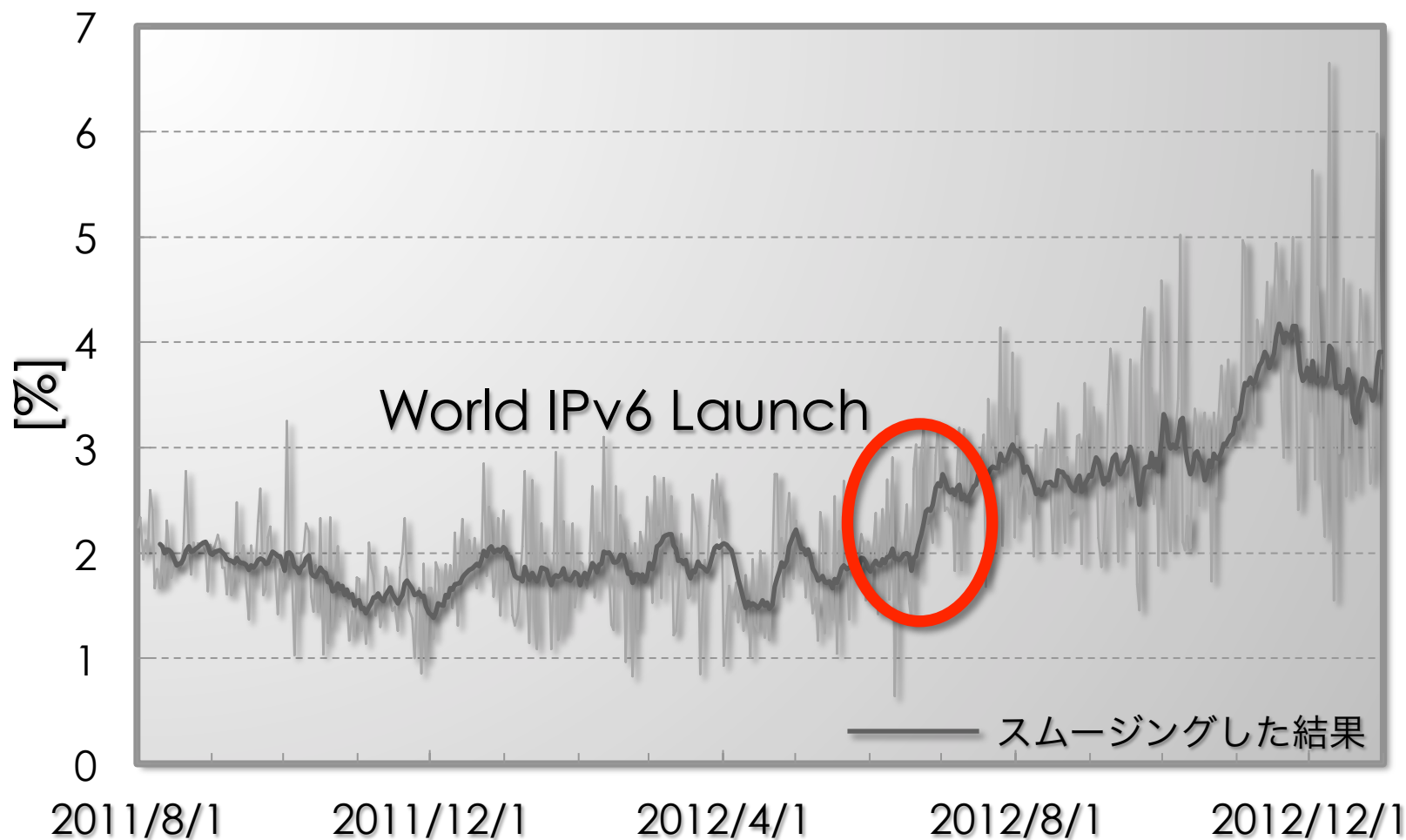
- 海外大手コンテンツホルダが日本へのAAAA応答を見送ったため
- IPoE利用者に影響が出る恐れがあるため
- ただし、クレームはほぼなし

# フレッツIPoE方式加入状況



# IPv6アクセス状況

## BIGLOBE測定サイトにおけるIPv6アクセス推移





# 今後の計画

コミュファ光	FY2013で計画中
BIGLOBE LTE (LTE MVNOサービス)	FY2013で計画中
フレッツ光ネクスト	FY2013での普及策を検討中！
Bフレッツ	<ul style="list-style-type: none"><li>• NGNへのマイグレーションに期待</li><li>• マイグレーションが進まない場合は6rd等まで含めて検討</li></ul>

# 普及に向けての課題

- フレッツIPoE方式における申込のさらなる簡素化
- フレッツPPPoE方式対応機器の普及
- BフレッツのNGNマイグレーション
  - BIGLOBEにおけるBフレッツ会員比率60%

# 本格展開に向けて

- サーバインフラ、ネットワークインフラ、デバイスはIPv6対応がおおむね順調に進展。残るはUNIのみ
- AAAAフィルタのような小手先の対処ではなく、これからはIPv6本格展開が大事
- IPv6は利用者に新たな価値を与えるものではないので、利用者が無意識のうちに進めるべき。ただし、多少のお手伝いをお願いするのは致し方ない。この場合は各事業者で同じ手順であるとスムーズに進みそう

BIGLOBEとしては、利用者の利便性を第一に適切な普及タイミングとその手法を検討していきます